

第2次宇都宮市自転車のまち推進計画（後期計画）概要版

第1章 計画の概要

1) 計画の目的

前期計画の各種取組や環境変化等を踏まえた自転車施策の推進による「自転車のまち宇都宮」の更なる推進

2) 計画の期間

令和8年度から令和12年度までの5年間

3) 計画の位置付け

- ・「自転車活用推進法」第11条に規定する市町村計画
- ・第6次宇都宮市総合基本計画の基本施策を実現するための計画
- ・SDGsへの貢献（目標3・目標11・目標13）



第2章 現状と課題

1) 前期計画の取組状況

成果指標の達成状況

指標	基準値	実績値（R7）	中間目標値（R7）
基盤づくり			
自転車通行空間整備の満足度	19.3%	20.0%	27.7%
市内駐輪場の利用者数	8,436人/日	7,609人/日	9,054人/日
意識向上			
自転車に関連する交通事故件数	484件/年	365件/年	270件/年
健康のために意識してから身体を動かす成人の割合	男 56.2% 女 48.3%	男 55.4% 女 51.2%	男 63.0% 女 60.0%
機会づくり			
自転車競技・サイクルイベントによる経済波及効果	28億円/年	35.8億円/年	28.5億円/年
「自転車のまち」の認知度	11.4%	13.5%	13.2%

各施策の評価

柱	取組状況
基盤づくり	・自転車通行空間の整備延長は順調に伸びているが、市民満足度は低調。また、視認性が低下した路面標示への対応が必要 ・ライトライン停留場付近の駐輪場を13か所整備するなど、計画どおりに整備。想定以上の利用率となっている。
意識向上	・令和5～7年の自転車に関連する交通事故件数は横ばい状態になっている。 ・健康ポイント事業の促進などにより、健康のために意識して体を動かす成人の割合は年々増加傾向にある。
機会づくり	・宇都宮ジャパンカップについては、令和6年度に過去最高の経済波及効果となるなど、計画以上の成果となっている。 ・PRの充実を図られたが、自転車のまち宇都宮の認知度は年度ごとにばらつきがある。

2) 市民アンケート結果

自転車の利用促進

- 自転車の利用促進には、安全安心な通行整備や駐輪場整備、自動車ドライバーから自転車利用者への配慮増進、シェアリングモビリティの拡大などが効果的である。

自転車の安全利用

- 通行空間の質が高いほど車道通行の割合は増加する傾向にあり、自動車ドライバーの不安軽減にも寄与する。

自転車のまち推進

- 市民に自転車のまちと認識されていない。
- 認知向上には、PR、通行空間整備、自転車通勤推進が効果的である。

4) 課題の総括

基盤づくり	意識向上	機会づくり
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 整備延長の拡大だけでなく、質の高い通行空間整備 ➢ 視認性が低下し路面標示への対応 ➢ 既存駐輪場の利便性向上 ➢ ウォークラブルなまちづくりと連動した整備 ➢ 公共交通との乗り継ぎ促進 ➢ シェアリングモビリティの拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 自転車利用者以外へのルール・マナーの周知 ➢ ウォークラブルなまちづくりを踏まえた歩行者の安全確保 ➢ 自転車通勤推進など日常利用の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ジャパンカップ以外のサイクルイベントの充実 ➢ かわまちづくり計画を活用した広域的なサイクルツーリズム ➢ 新たな地域資源（アークタウン宇都宮、北西部地域体育施設）を活用した魅力向上 ➢ 「自転車のまち宇都宮」のブランド力向上に向けたPRの強化

第3章 後期計画の方向性

課題を踏まえ、後期計画に向けた3つのテーマと8つのポイントを整理しました。

テーマ	ポイント
つなげる まちづくりを支える 自転車利用環境整備	①まちづくりの進展に対応した自転車利用環境の整備
	②自転車通行空間の質の向上
	③良好な自転車通行空間の持続的な確保
	④公共交通との更なる乗継強化に向けた自転車利用環境の整備
みらいへ 自転車利用意識の 更なる向上	⑤歩行者・自転車・自動車それぞれに対する交通ルールやマナーの周知・啓発
	⑥自転車を活用した脱炭素型ライフスタイル・ワークスタイルの推進
自転車の輪 自転車と地域資源の 連携による魅力向上	⑦地域資源と自転車の連携・活用による更なる誘客促進
	⑧「自転車のまち宇都宮」のPR強化

第4章 計画の基本方針

1) 将来像

後期計画に向けたテーマおよびポイントを踏まえ、計画の将来像を以下のとおり設定します。

自転車で人と公共交通とまちをつなげる

NCCの更なる形成とみらいへに向けた
自転車の輪を広げ、誰もが健康で便利に楽しめる
「自転車のまち宇都宮」の実現



NCCの更なる推進に向けて、ウォークラブルなまちづくりの推進や公共交通ネットワークの充実など、まちと暮らしが大きく変わる転換期を迎える中、まちづくりの進展と連携した自転車施策・事業の充実を図り、歩く・乗る・集うが調和した誰もが健康で便利に楽しめる「自転車のまち宇都宮」を実現します。

2) 基本目標

後期計画に向けたテーマおよびポイントを踏まえ、計画の柱および基本目標を以下のとおり設定します。

柱	目標
基盤づくり ～つなげる～	歩行者・自転車が安全・快適に移動できる機能的で質の高い通行環境の実現
	公共交通と連携し公共交通ネットワークを補完する利便性の高い自転車利用環境の形成
意識向上 ～みらいへ～	歩行者・自転車利用者・自動車運転者それぞれの安全意識の高揚
	自転車の日常利用促進による脱炭素化と健康増進
機会づくり ～自転車の輪～	自転車と地域資源の連携活用による自転車を楽しむ多様な機会の提供
	プロモーションの推進強化と自転車の輪の形成

第5章 施策事業一覧・指標

計画全体の指標							
総合的に宇都宮市は「自転車のまち」だと思割合 現状(R7) 19.4% ➡ 目標値(R12) 30%							
柱	目標	施策	事業	分類	重点	アウトプット指標	アウトカム指標
基盤整備(インフラ)	歩行者・自転車が安全・快適に移動できる機能的で質の高い通行環境の実現	安全な通行環境の整備	自転車通行空間等の新設整備	拡充	◎	○自転車通行空間の整備延長(総延長) 現状(R7) 93.1km ➡ 目標値(R12) 123.3km	○自転車通行空間整備の市民満足度 現状(R7) 20.0% ➡ 目標値(R12) 36.0%
			既整備路線における質の高い自転車通行空間の再整備	新規	◎		
			生活道路における安全な通行環境整備	新規			
		自転車ネットワーク路線の維持管理	既整備における自転車通行空間の計画的な維持管理	拡充			
			走行支障物件の撤去指導	継続			
			路上駐停車対策の検討	新規			
	公共交通と連携し公共交通ネットワークを補完する利便性の高い自転車利用環境の形成	公共交通との乗継強化に向けた自転車利用環境の整備	鉄道駅周辺駐輪場の適切な管理運営	継続			
			ライトライン停留場付近の駐輪場環境の向上	継続	◎		
			JR宇都宮駅西口周辺における駐輪場の再整備検討	継続			
			ライトライン駅西側を見据えた停留場付近の駐輪機能の検討	新規			
			路線バス停留所付近の駐輪場整備	継続	◎		
			モビリティハブの設置	新規			
			自転車放置防止対策	継続			
			シェアリングモビリティの普及促進	継続			
意識向上(みらい)	歩行者・自転車利用者・自動車運転者それぞれの安全意識の高揚	自転車等の交通ルール・マナー等の周知啓発	学校やプロスポーツチーム、民間企業等と連携した交通安全教室の開催	継続	◎	○自転車安全利用教室の開催数 現状(R7) 119回/年 ➡ 目標値(R12) 150回/年	○自転車事故発生件数 現状(R7) 365件/年 ➡ 目標値(R12) 270件/年
			心身の発達段階に応じた交通安全教室の開催	継続	◎		
			市公式SNS等を活用した自転車利用者への効果的な啓発の実施	新規			
			自転車安全利用のための街頭指導の実施	継続			
			自転車ヘルメットの着用の周知・啓発	継続			
			自転車損害賠償責任保険等の周知・啓発	継続			
			(仮称)「宇都宮市自転車安全利用推進事業所」の認定事業の実施	新規			
			災害時における自転車の活用	継続			
	自転車の日常利用促進による脱炭素化と健康増進	自転車通勤などの日常的な利用の促進	企業等と連携した自転車通勤の促進	拡充	◎	○出前講座「自転車通勤のススメ」の開催回数 現状(R7) 0件/年 ➡ 目標値(R12) 12件/年	○通勤目的の自転車分担率 現状(R7) 12.0% ➡ 目標値(R12) 20%
			(仮称)「宇都宮市自転車安全利用推進事業所」の認定事業の実施【再掲】	新規			
			みやエコ・アクション・ポイント事業を活用した自転車による環境配慮行動の促進	新規			
			企業等と連携した自転車通勤の促進【再掲】	拡充	◎		
			健康ポイント事業等を活用した自転車による健康増進	継続			
			プロスポーツチーム等と連携した介護予防教室	継続			
機会づくり(自転車)	自転車と地域資源の連携活用による自転車を楽しむ多様な機会の提供	サイクルスポーツの振興	宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース等の開催	継続	◎	○体験型サイクルイベント開催数 現状(R7) 29回/年 ➡ 目標値(R12) 30回/年	○体験型サイクルイベント参加者数 現状(R7) 4,737人/年 ➡ 目標値(R12) 5,000人/年
			宇都宮ジャパンカップ等における参加型レース・イベントの開催	拡充	◎		
			様々なサイクルスポーツの利用環境の整備	継続			
			様々なサイクルレース・イベントの誘致・開催	拡充			
			市内観光地等における自転車での広域的な誘客促進	拡充			
	サイクルツーリズムの推進	自転車マップ等の作成・配布	継続				
		鬼怒川サイクリングルート沿川のリバースポット整備	新規				
		サイクリングルート沿線の休憩スポット(自転車の駅)の充実	継続				
		サイクリストに対する支援策の実施	継続				
		プロモーションの推進強化と更なる市民のシビックプライド・自転車の輪の形成	自転車のまち宇都宮のPR強化	プロスポーツや多様なメディアを活用した情報発信	拡充		
民間企業等と連携した自転車のまち宇都宮の周知啓発	新規						
ターゲットに合わせた自転車のまち宇都宮の周知啓発	新規						